

「生活援助は日常で負担する費用に」

介護制度慎重検討求める意見書に自公系会派が反対

日本共産党市議団が

っています。

鶴岡市議会9月定例会に提出していた「介護保険の次期制度改正に向けた検討についての意見書」は、26日の本会議で共産党・市民クラブ・無所属議員が賛成しましたが、新政クラブ・政友公明クラブの反対で不採択とされました。

その中で、福祉用具・住宅改修を「原則自己負担」とすることは、「低所得者等弱者の切り捨てになる」として、反対の意見書を

反対討論に立った秋葉雄議員（政友公明クラブ）は、「6月議会に可決された福祉用具に関する意見書は、介護予防や重度化を防ぐ趣旨だったが、今回の意見書は趣旨が異なり同様に論ずることは出来ない。そもそも、昨年6月に閣議決定された骨太の方針の中で検討されたことは、将来的な介護保険財政の厳しさから負担と給付のあり方を見直さなければならぬ」と述べ、

6月議会では「原則自己負担に反対」に全会一致

介護を要支援1、2の保険給付から外したのに続いて、要介護1、2の人が受ける生活援助を「原則自己負担」一部補助（1）にすることや、保険給付から外すことについても慎重な検討を求めています。

加えて、訪問・通所に閣議決定された骨太の方針の中で検討されたことは、将来的な介護保険財政の厳しさから負担と給付のあり方を見直さなければならぬ」と述べ、

意見書は菅井巖議員が提案。介護保険の次期制度改正で検討されている見直しについて、制度の後退や負担増を招かぬよう慎重な検討を求める内容にな

「介護負担・給付見直しは時代の要請」

「介護負担・給付見直しは時代の要請」

医療安全、地域医療確保を

☆9月30日（金）、厚生環境常任委員会で質問をおこないました。

最初に、県立中央病院で二人の患者の検体の取り違えから、おこなうべき手術を取り違えた問題。病院の安全管理システム、ミス・ニアミスの発生状況などを調査・把握しましたが、事故の総括は、医療事故調査委員会の調査を待つこととなります。

次に、県地域医療構想について。全ての都道府県が2025年の地域医療についての構想を国のガイドラインに従って策定することになり、県も案を発表、現在1万1

131床の病床を9267床に、1864床・16・7%削減するといふものです。

私は、国の病床削減の方針の誤り、大幅な削減が医療現場の労働を過酷にする事などを指摘、経済的問題で受診できない状況について調査し、計画に反映させることなどを求めました。担当課は、「構想はあくまで目安であり強制するものではない。適切な病床数は関係者の今後の議論で検討が重ねられる」と答弁。医療を守るためにたいがい求められています。

（県議 関 徹）

則自己負担に切り替えることができる」と述べて反対しました。

予算の範囲内で打ち切りもある

賛成討論に立った加藤一議員は、「利用者・家族のさらなる負担となり問題だ。介護保険から市町村の新総合事業に移行することは、介護保険料を払っている被保険者の保険給付の受給権を剥奪することになる。

市町村の総合事業は、予算の範囲内で行うので、市町村に給付義務はなく予算が足らなくなったら事業の打ち切りもあり、無資格者によるサービスの提供などで専門サービス

は保障されない。

国が定める単価は現行よりかなり低く、それを上限として市町村はさらに低く設定できる。

鶴岡市では、平成27年度で要支援者1812人が制度改悪による不安にさらされ、さらに要介護1と2で3483人にそれが及んでいくことは許されない。

介護が必要と認定された高齢者が、これからも住み慣れた地域での生活を実現し、働く人も含めて介護家族の負担がいま以上に重くならないように国に働きかけることが市議会の努めであり、本意見書は採択すべきものと訴えました。

ワッパ騒動義民顕彰碑建立7周年記念講演会開く

―記念講演・第1回総会・会誌発行



地域史研究協議会常任理事）が「三島県政に見るワッパ騒動の影」と題して記念講演。義民側からの研究が多いなかで、多面的な視点からの分析検討も必要と、為政者や弾圧する側から見たものとして、三島通庸にとってのワッパ騒動とワッパ騒動対策につながる三島県政について史料を基に詳細に講演されました。

9月30日、顕彰碑のある大松庵で標記の会が開かれ、40人ほどが集まり升川繁敏事務局長の司会で進められました。

山内励氏（山形県）

（2面につづく）

【寄稿】朝日地区バス減便と「ぼんぼ」休止は、困ります

高橋 裕子

(ラクシマの子どもの未来を守る家代表)

朝日庁舎・市民福祉課は、①「朝日地域交通再編の具体的な対応について」(9月中3回)、②かたくり温泉ぼんぼの休止について(9月中6回)の説明会を開催しました。

私は、「ぼんぼ」の向かいにある、社会福祉法人朝日ぶなの木会運営の介護老人施設に入所している両親に会う為、毎日の様に庄内交通のバスを利用し朝日に通っています。

バスの待ち時間や休憩に利用している「ぼんぼ」が来年3月で休止、また唯一の交通手段である庄内交通バスの本数が激減する計画があることを知り、説明を聞き、意思表示をしよう…と、9月27日(火)昼の部の説明会に参加しました。

朝日庁舎市民福祉課の方からは、
 ・利用者が減り収入が減る一方で、人口減少等で市税が減少し、市の持ち出し分が膨らみ、これ以上「ぼんぼ」を維持していくのが難しくなった。他の温泉施設も同様で、早晚運営が厳しくなり、休止の方向になるだろう。
 ・「ぼんぼ」の場合は、特に地下200メートル以上も深く掘削しなければならぬ、また加熱に経費がかかるこ

と等、入館者数の及び収入の推移等の資料も示し、説明があった。参加者からは、

・朝日の住民ではないが、「ぼんぼ」の湯が体にとっても合うので週に2回は通っている。常連の方とも馴染みになれ、その方たちとの交流も楽しんだ。唯一の楽しみがなくなるのは大変困る。
 ・足腰が痛かったが、この温泉に通い良くなった。朝日の利用者が少ないというが、温泉というのは、自分に合う所に行くので、遠くからでも通う人はいっぱいいる。

・朝日村住民にアンケートは取ったのか？(温泉利用者にアンケートはとったと回答あり)
 ・「生き生きクラブ」のメンバーで、ここに介護予防の体操に通っているが、「温泉付き」がメリットなのに、風呂に入らず体操だけにとなると余り魅力がなくなる。

・巨額の予算をつぎ込んで、文化会館を建設しているようだが、もっと住民の日々の暮らしや健康の為に税金を使っしてほしいものだ。等々「ぼんぼ休止は困る」意見が続出し、終了予定時間をオーバーしました。

私は、(説明会でも発言しましたが)「ぼんぼ」付近一帯を「健康と福祉の里」にどの理念の下、日帰り温泉や介護福祉施設を整備してこられたことは、大変素晴らしいこと、それを「利用者が少なくなったから」との理由で止めるのは非常に残念、何とか継続してもらえないか…過疎と高齢化が進む朝日地域だからこそ、高齢者にとって人と交流できる娯楽の場は、介護予防、認知症予防の為に必要なのではないか…と考えます。



かたくり温泉ぼんぼ

朝日と鶴岡を歩き来るバスが午前1本、午後1本になってしまったら、例えば朝のバスで鶴岡市内の病院を受診する、あるいは買い物をする場合でも用事が終わっても夕方まで帰りのバスを何時間も待たなくてはなりません。

そんな大変なことを自家用車を運転できない子どもやお年寄りや障害を持った人に強いるのは、とても酷な事だと思えます。

特に高齢者にとって外出の機会が減ることは、家に閉じこもりがちになり、心身共の不健康になり、認知症発症のリスクも高くなるのではないかと心配です。

(1面のつづき)
 続いて総会が行われ、顕彰会の2015年度報告、16年度活動(ゆかりの地めぐり・顕彰誌第5号と会報発行、記念講演会等)が承認され、代表・本間勝喜、事務局長・升川繁敏、相談役・前田光彦、三原容子さんから役員を引き続き選びました。
 なお同日「顕彰誌第4号」(1000円)が発行され、元藤島ワッパ騒動義民顕彰会代表の太田榮市氏の巻頭言、昨年の記念講演、佐藤昌明氏「庄内ワッパ事件を語る」等が掲載されています。

「ぼんぼ」は、他の日帰り温泉施設と違い食堂がありません。毎朝、地元の商店や農家から、日替わり弁当や赤飯、とち餅、新鮮な野菜等が運び込まれます。
 また昼食用に、地元食堂からの出前を取ることもできます。このように「ぼんぼ」は、朝日村の地域経済にも貢献してきました。

先日、大広間で休憩している時、利用者同士で「ここ無くなったら、何処さ遊びさ行けばいいだろう」等の会話を耳にしたり、杖をつきながら、バスから降りて「ぼんぼ」に入っていく高齢者をお見かけする度に「高齢者の日常のささやかな喜び、生きがいを奪わな

誰にでも子ども時代があり、誰もが年をとっていき、誰もが障害を持つこともあり、社会的弱者である時代が誰にでもあります。弱者に優しい社会が全ての人に優しい社会だと思えます。

温海庁舎入札結果 () 内は予定価格 9月29日入札分 ・しな織センター解体工事(関川字向222)(入札3業者) (株)土岐工務店 4,500,000円(4,810,000円) 工期~12/9(落札率93.6%)
土木課入札結果 () 内は予定価格 9月29日入札分 ・加茂5号線道路改良工事(加茂地内)(入札6業者) 青葉建設(株) 4,400,000円(4,454,000円) 工期~12/22(落札率98.8%)
温海建設事務室入札結果 () 内は予定価格 9月29日入札分 ・市道越沢振興通線道路災害復旧工事(越沢地内)中止
南部建設事務室入札結果 () 内は予定価格 9月29日入札分 ・市道東岩本七五三掛線道路災害復旧工事(大網地内)中止